

研究・調査報告書

| 分類番号 | 報告書番号 | 担当 |
|---|-------|----------------------------|
| A-110 | A-154 | 15-021 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 |
| 題名 (原題/訳) | | |
| <p>Tobacco-, alcohol-, and drug-attributable deaths and their contribution to mortality disparities in a cohort of homeless adults in Boston.</p> <p>ボストンのホームレスコホートにおけるタバコ、アルコール、薬物に起因する死亡と死亡率への寄与</p> | | |
| 執筆者 | | |
| Baggett TP, Chang Y, Singer DE, Porneala BC, Gaeta JM, O'Connell JJ, Rigotti NA. | | |
| 掲載誌 | | |
| Am J Public Health. 2015 Jun;105(6):1189-97. doi: 10.2105/AJPH.2014.302248. | | |
| キーワード | | PMID |
| タバコ、アルコール、薬物、死亡率、成人ホームレス | | 25521869 |
| 要 旨 | | |
| 目的： | | |
| 成人ホームレスのコホートにおけるタバコ、アルコール、薬物に起因する死亡および死亡率への寄与率を明らかにする。 | | |
| 方法： | | |
| 2003年から2008年に実施された Homeless Program における成人 28,033名の死因をボストン保健センターより確認し、タバコ、アルコール、薬物使用に起因する死亡数ならびに、人口寄与危険割合を算出した。また、率比と率差を使用して寄与死亡率をマサチューセッツ州成人と比較した。 | | |
| 結果： | | |
| 死亡者 1,302名のうち 236名がタバコに、215名がアルコールに、286名が薬物に起因していた。死亡の 52%はこれら 3つのいずれかに起因していた。マサチューセッツ州の成人と比較して、タバコ寄与死亡率は 3倍から 5倍高く、アルコール寄与死亡率は 6倍から 10倍高く、薬物寄与死亡率は 8倍から 17倍高かった。ホームレスコホート成人とマサチューセッツ州成人との総死亡率差の 57%は、物質に関連した死亡によって説明された。 | | |
| 結論： | | |
| 本研究において、成人ホームレス死亡の半数は、タバコ、アルコール、薬物といった物質に起因していたが、一般住民との死亡率の差異を十分に説明しなかった。よって、物質中毒と非中毒双方に焦点をあてた介入が必要と考えられる。 | | |